

美味しく 食べて

放置竹林 解消！



参加無料

日時 2月4日 13:30~16:00頃
Zoomオンライン開催 接続URL →
ミーティングID: 848 4487 7436
パスコード: 771579



【講演内容】 竹やぶになる前に食べる = メンマ 子供たちによる、里山保全と地域活性化



農家の高齢化・輸入タケノコの増加により、竹林が放置され、竹やぶ化しその面積の拡大が止まりません

1700年代に薩摩藩により中国大陸から移植された「モウソウチク」は、食料（タケノコ）として大変重宝されました。しかし、現代では、経済価値がなくなり放置されています。

結果として、土砂崩れを招いたり、他の植物を枯らしたりする社会・環境問題も引き起こしています。使わなくなった外来種を処分しなければ、在来の自然環境が損なわれます。

特別講演として、環境省より「地域循環共生圏」の説明と、外来種放置竹林との相関についてコメント頂きます。(13:30~13:45)

講演 では、福岡県糸島市の事例として、幼竹（2m程のタケノコ）を食品（メンマ）として活用し、地域の産業化（6次化）に成功した事例を発表頂きます。
【糸島コミュニティ事業研究会・日高栄治氏】13:45~14:30

講演 では、将来の地域の担い手である小学生が「里山保全/竹林整備」と「メンマ製品のデザインや販売体験」を行う長野県飯田市の事例を発表頂きます。
【NPO法人いなだに竹Links・曾根原宗夫氏】14:40~15:25

質疑応答の時間を設けます。講演時間は目安です。16時までには終了します。

日本農業新聞



お問い合わせ 福岡県地球温暖化防止活動推進員(久留米市選出) 山村/070-5415-2935

【主催】地球温暖化防止活動推進員・北筑後連絡会 【後援】福岡県地球温暖化防止活動推進センター

【協力】SDGsバンブープロジェクト推進フォーラム、(一社)九州循環共生協議会